

1年生

教科	科目	対象者	内容・提出方法・締め切りなど
国語	国語総合	全クラス	《現代文》 ①教科書 P28～P33を読む。 ②一読後の感想をノートにまとめる。 ③教科書脚注●の語句の意味を調べてノートに書く。 ④その他わからない語句の意味を調べてノートに書く。 ⑤教科書脚注の◎の漢字をノートに5回ずつ練習する。 ⑥教科書脚注の☆の設問の答えをノートに書く。 ⑦教科書 P34の学習のポイント①～③についてノートに書く。 ⑧教科書 P34の漢字レベルアップの答えをノートに書く。 ①～⑧が終了したら⑨に取り組む。 ⑨学習課題ノート P12～15を記入する。
地歴 公民	現代社会	全クラス	課題内容は今までと同じです。 週に2時間、授業があるので、1時間につき見開き1ページ（2ページ）分を進めなさい。 万が一、課題に遅れのある生徒は今のうちに必ず取り戻しておいてください。 学校が再開したら最初の授業で提出してもらいます。しっかり準備してください。
数学	数学 I	1～10 組	Classi にて課題を配信します。
		11 組	Classi にて課題を配信します。
	数学 A	全クラス	Classi にて課題を配信します。
理科	化学基礎	1～11 組	①教科書 p36～38 を読み、Let's Try Note Vol.1 p9(6)～10 までを書き込み、○付けまでしておく。 【point】中学で学習した固体・液体・気体が、目には見えない粒としてイメージしたとき、どのように振る舞っているのかということに注目してみよう。 ※休校明けに Let's Try Note Vol.1 を提出してもらいます。前回の課題も含めて提出できるようにしておいてください。
保健 体育	体育	全クラス	健康に留意し、可能な範囲で体を動かしておくこと。 毎日 Classi にログインし、課題が配信されていないか確認しておくこと。
	保健	全クラス	毎日 Classi にログインし、課題が配信されていないか確認しておくこと。

1 年生

教科	科目	対象者	内容・提出方法・締め切りなど
英語	コミュニケーション英語Ⅰ	1組～10組	(1) Lesson 1、Lesson 2 (ワークブック P2～P13) (2) Lesson 3 Part 1、2 (ベーシックノート P22～25) (3) Lesson 3 Part 1、2 (ワークブック P14,15) < ベーシックノート・ワークブック > ・解答は全てベーシックノート、ワークブックに書き込むこと。 ◆ 各 Lesson の Part を以下の手順で進めて勉強をして下さい。 ①「㊸単語をしらべよう」の単語の意味・品詞・活用を調べる。 ② 本文を音読する。 ③「㊹本文を読もう」の英文の下に、自分なりに調べた日本語訳を記入。 ※必ず辞書を使って単語や熟語の意味を調べて訳してみてください。 ④ 内容を理解したら、「㊺本文を確認しよう」の問題を解く。 ⑤ ベーシックノートが終わったら、ワークブックで文法を確認して下さい。 ※基本的には前回の手順と同じです。 ※全て解答を見て自分で丸付けまですること。 <ユメタン0> 範囲－Unit 01 ① 音を確認しながら単語を覚える。後日テストをします。
		11組	コミュニケーション英語Ⅰ教科書 (CROWN) 本文をノートに書き写し、日本語訳を考えて書く やり方 ①A4のノート1冊購入する ②ノート見開きの左のページに本文を書き写す(文の間隔は1行分あけること) ③ノート見開きの右のページに書き写した文の日本語訳を考えて書く(分からない単語は意味を調べる) 範囲 Lesson 1 part1-3 Lesson 2 part1-2

1 年生

教科	科目	対象者	内容・提出方法・締め切りなど
英語	英語表現 I	1 1 組	範囲 ・ Vision Quest English Expression I Advanced (以後 VQ-A) (P20～P 21) ・ Vision Quest WORKBOOK (以後 VQ-WORKBOOK) (P14～P15) ・ 5/1 配布(郵送)プリント (1 枚目) (VQ-A P20～P21 に該当) ※ (参考資料) Vision Quest 総合英語 (以後 VQ) 第 3 章(時制), 動作動詞と状態動詞 手順 1) 5/1 郵送プリント (1 枚目) (後日提出してもらいます) ①「Build up 1」の 説明をよく読み、続く「Practice 1」を解く。 ※プリントに解答を記入する。 ※後日正答が配信されたら間違ったところを赤ペンで修正する。 ②「Vocabulary List 語いリスト」の単語、熟語を覚える。 ③Build up1 の例文を、意味を考えながら何度も音読する。 ※ 例文一覧および日本語訳は VQ-A P126 を参考にする。 2) VQ-WORKBOOK (P14～P15) (後日提出してもらいます) 上記 1) 実施後、「Exercises」を解く ※ 解答冊子を見て○付けをしておくこと。 ★上記 1), 2) の作業 において「VQ 第 3 章(時制), 動作動詞と状態動詞」を適宜参考にする。
情報	社会と情報	全員	教科書第 1 編 07・08 (P24～P27) を参照し、サポートノート (P14～P17) を作成してください。別冊解答で答え合わせ (マルつけ) を行ってください。